

審判上の確認事項について

審判委員長

- 1 本大会は、2023年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。選手は試合ごとに、正しく登録された18名のうち14名がエントリーできる。リベロの登録は、試合ごとに以下の通りとする。（12名以内→0～1名・13名以上→2名）
- 2 ラインアップシートの訂正は、副審に手渡した後は認められない。ただし、公式練習中に選手が負傷した場合、監督は主審に申し出て、負傷選手を変更することができる。
- 3 各セット開始前にコート内でハドルを組む際は、ラインアップシートに記載された6人とスターティングリベロの計7名までとする。
- 4 セット間は、フリーゾーンでのボールの使用を認めるが、隣のコートの妨げにならないように注意し、パス程度とする。
- 5 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手チームに向かってのガッツポーズ等）
- 6 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意する。また、コート上の選手がベンチのスタッフや交代選手とタッチ（ハイタッチ）などを行わないこと。
- 7 ワンボールで試合を行うので、デッドになったボールは、速やかに次のサーバーに渡すこと。
- 8 およそ8秒のテンポでサービス許可を行うため、次のサーバーは、相手からの返球を待たずにサービスゾーンに移動し、ボールを待つ。
- 9 タイムアウトの要求は、オフィシャルハンドシグナルを明確に示して要求すること。サブスティテューションについては、クイックサブスティテューションシステムを採用する。
- 10 インプレー中に吹笛が鳴ったら、直ちにプレーをやめること。（相手コートに返球しない。）